



「使われる人」から「与える人」へ
〜10年代を生きるのびるための「ビジネス」学ぶ〜

ビジネスに必要とされる知識を様々な角度から学びます。

社会人の方とこれから社会に出る方も一緒に、今の時代を乗りきるために必要なスキルを身につけましょう。

▼とき別表のとおり
土曜日 15時〜17時

▼ところ 谷戸公民館

▼対象 市内在住・在勤・在学者

▼定員 20人(申込順)

▼申込 11月4日(木)10時から電話で谷戸公民館へ

回	月日	内容	講師
1	11/13	サバイバルのための英語術	前田正晶 (元米国製紙メーカー勤務・コラムニスト)
2	11/20	文才がない人のための文章表現法	明石和美 (フリーランスライター)
3	12/4	あなたのお洒落は無駄になる!? ~働く人のための服飾術・メイク術~	飯野高広 (ファッションジャーナリスト) 久留島康代 (メイクアップアドバイザー)
4	12/11	「できる人」は「声」が違います ~仕事に役立つ話し方講座~	カミヤ春佳 (声優)
5	12/18	10年代の情報術	松本功 (学術出版社社主)

コーディネーター 助川幸逸郎 (横浜市立大学講師)

谷戸公民館

「使われる人」から「与える人」へ
〜10年代を生きるのびるための「ビジネス」学ぶ〜

一昨年公開された大反響を呼んだドキュメンタリー映画『嗚呼 満蒙開拓団』の上映会と監督のトークショーを開催します。

▼とき 11月20日(土)
上映開始時間
①11時②14時③17時

▼ところ 谷戸公民館

▼対象 市内在住・在勤・在学者

▼定員 各回70人(申込順)

▼申込 11月2日(火)10時から電話で谷戸公民館へ

『嗚呼 満蒙開拓団』
(2008年・120分)
監督 羽田澄子

※申込の際に希望する上映時間をお伝えください。

トークショー 13時10分
羽田澄子 (映画『嗚呼 満蒙開拓団』監督)
宍倉愁子 (FM西東京パーソナリティー)

谷戸公民館

「嗚呼 満蒙開拓団」
映画会&トークショー

保谷駅前公民館

親子で感じる音楽遊び

体中で音を感じて、親子でリラックスした時間を過ごしてみませんか。きつと親子の絆も深まることでしょう。

当日は地域子育て支援センター「ひがし」の保育士も来ています。子育てについて等お気軽にお声かけください。

▼とき 11月30日(火)

▼ところ 保谷駅前公民館

▼対象 時間別の対象は別表のとおり

▼定員 各回とも15組(申込順)

▼講師 越永純子(英国公認音楽療法士)、石川玲子(吉田音楽教室リトミック講師)

▼共催 地域子育て支援センター「ひがし」

▼申込 各回とも11月5日(金)10時から電話で保谷駅前公民館へ

回	時間帯	対象
①	10:00~11:00	1歳7か月~3歳未満
②	11:30~12:30	8か月~1歳6か月

美術講座 20世紀美術の情熱と詩情

~具象から抽象へ・変貌する絵画の楽しみ~

▼記入要領 ①往信面の裏面に①美術講座②郵便番号③住所(市外は、在勤・在学を明記)④電話番号⑤氏名(ふりがな) 返信面は申込人の郵便番号、住所、氏名(敬称記入)、裏面は白紙。はがきのあて先は〒188-0001 西東京市谷戸町1-17-2 谷戸公民館

回	月日	内容
1	11/14	情熱の青騎士 (ドイツ表現主義とカンディンスキー等について)
2	11/28	絵画の中の詩情 (バウハウスとクレー等について)
3	12/19	20世紀後半への展開 (バウハウス以降の抽象絵画等について)



▼講師 楠本大 (東京大学大学院農学生命科学研究科助教・前原忠 (同研究科助教)・安村直樹 (同研究科講師)・鶴見康幸 (同研究科技術専門職員)・栗田直明 (同研究科技術専門職員)

▼共催 東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

▼申込 11月5日(金)14時から電話で保谷駅前公民館へ

身近な樹木に親しもう

木々が色づく季節となりました。木の名前を覚えるだけで身近に感じ、木に愛着がわいてきます。今まで自然観察の経験がない人も、四季折々に変化している樹木を見上げて歩いてみませんか。

▼とき 別表のとおり

▼水曜日 14時~16時

▼集合 11回目は保谷駅前公民館にお集まりください。

▼対象 市内在住・在勤・在学者(定員を超えた場合は、今までに実施した樹木講座に参加していない方を優先します。)

▼定員 20人(申込順)

※観察する場所までの交通費は各自の負担となります。

回	月日	内容
1	11/17	樹木の見分け方とその特徴
2	11/24	下保谷森林公園で樹木の観察
3	12/1	秋の東京大学演習林
4	12/8	田無試験地の観察

谷戸公民館



激動と変革の20世紀、カンディンスキーやクレー等の画家達は、様々なスタイルに挑戦しました。躍動期の絵画を、創作の情熱や詩情から映像投影等で幅広く学びます。

晩秋の午後ひと時、絵画への旅を楽しみましょう。

▼とき 別表のとおり

▼水曜日 14時~16時

▼ところ 谷戸公民館

▼対象 市内在住・在勤・在学者

▼定員 30人

▼講師 遠藤望 (世田谷美術館企画担当課長・学芸員)

保谷駅前公民館

木々が色づく季節となりました。木の名前を覚えるだけで身近に感じ、木に愛着がわいてきます。今まで自然観察の経験がない人も、四季折々に変化している樹木を見上げて歩いてみませんか。

▼とき 別表のとおり

▼水曜日 14時~16時

▼集合 11回目は保谷駅前公民館にお集まりください。

▼対象 市内在住・在勤・在学者(定員を超えた場合は、今までに実施した樹木講座に参加していない方を優先します。)

▼定員 20人(申込順)

※観察する場所までの交通費は各自の負担となります。

芝久保公民館

「平和を考える」講座

NGOスタッフとしてアフガニスタン復興支援活動をしている市川齊さんを講師に、アフガニスタンの現状・支援のあり方を聞き、ワークショップ形式で平和について考えていきます。

▼とき 12月4日(土)13時~15時30分

▼ところ 芝久保公民館

▼申込 11月19日(金)10時から電話で芝久保公民館へ



「平和を考える」講座
NGOスタッフとしてアフガニスタン復興支援活動をしている市川齊さんを講師に、アフガニスタンの現状・支援のあり方を聞き、ワークショップ形式で平和について考えていきます。

▼とき 12月4日(土)13時~15時30分

▼ところ 芝久保公民館

▼申込 11月19日(金)10時から電話で芝久保公民館へ

サークル訪問

子どもと書籍を結ぶ

学校図書館を考える会

学校図書館に関心を持ち、子どもたちの読書環境をよりよい形にしたいという熱い思いを持つ人たちが集まり活動をしているのがこのサークルです。

会の発足を呼びかけたのは自宅を開放して、文庫活動「ロッキークー文庫」を長年続けてきた越野さん。呼びかけに呼応して「ミニアム」と騒がれた2000年5月に設立総会が開催され、今年10周年記念を迎えました。当初は「子どもの本と学校図書館を考える会」という名称でスタートしましたが、昨年3月に現在の名称に改称されました。

現在の会員数は25人。「会員の中心に学校教諭経験者が数人いますが、ほとんどの会員は自分子どもたちが既に成人しているため、特に現役の保護者の皆さんの入会を促進していきたい」と代表の古賀さんのことばに力がこもります。

「会を設立してから毎年、学校図書館専門員(司書)の1校1人専任配置(現在は1人2校兼任)を中心とする要望書の提出など行政へのねばり強い働きかけを継続してきました。」

また、多くの市民に学校図書館の活動を知ってもらうために地域の公民館まつりに参加し広報活動をしたり、公民館市民企画事業を積極的に活用して講演会や学習会も毎年開催しています。さらに、学校図書館を考える全国連絡会などに参加して、全国の情報を収集したり、地域の学校図書館を見学するなど西東京市の学校図書館をより良くしていくことと活動を行っているところです。

会員の皆さんに、学校図書館に対する思いを語ってもらいたい。

「学校図書館に本がたくさんあるだけではなくて、その本を手渡す人(司書)がいることが必要」

「司書がいるかないかで、子どもたちの本との関わり度合いは大きく違ってくる」

「本に関わる条件を整えることで、子ども達の学習意欲も上がるはず」

「図書館、学校図書館に行政力を入れることで、地域のことを自ら考える市民が育つのでは」と話が尽きません。

これからも学校図書館が子どもたちの豊かな学びのために何ができるかを考え、学習や活動を重ねていきたいと語ってくれました。

只今、会員募集中です！

連絡先 古賀 466・0097 / 080・6649・5483